

作成日 1997年 5月 1日

改訂日 2014年 3月 4日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	電解液 S-108
会社名	株式会社 中央製作所
住 所	名古屋市瑞穂区内浜町24番1号
担当部署	研究開発部
電話番号	052-821-6196 F A X 052-823-2796
整理番号	S - 1 0 8

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

引火性液体	: 区分外
自然発火性液体	: 区分外
自己発熱性化学品	: 区分外
酸化性液体	: 区分外

健康に対する有害性

皮膚腐食性・刺激性	: 区分 1 A
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	: 区分 1
皮膚感作性	: 区分外
生殖細胞変異原性	: 区分外
特定標的臓器/全身毒性 (単回暴露)	: 区分 1

環境に対する有害性

水生毒性 (急性)	: 区分外
水生毒性 (慢性)	: 区分外

絵表示またはシンボル



注意喚起語	: 危険
危険有害性情報	: 皮膚の薬傷・眼の損傷 眼の損傷 吸器系の障害

注意書き

安全対策	: 粉じん, ミスト, 蒸気などを吸入しない。 この製品を使用する時に, 飲食または喫煙をしない。 適切な保護手袋, 保護眼鏡, 保護衣, 保護面, 保護マスクなどを着用する。 使用後は保護具をよく洗う。 取扱い後はよく手を洗う。
------	---

救急処置	: 吸入した場合: 新鮮な空気のある場所に移し, 呼吸しやすい姿勢で休息させる。気分が悪いときは, 医師の処置を受ける。
------	--

飲み込んだ場合：口をすすぐ。無理に吐かせない。直ちに医師の処置を受ける。

眼に入った場合：流水で数分間洗い流す。医師の処置を受ける。

皮膚に付着した場合：汚染された衣類および付着物を取り除く。皮膚を流水で洗う。直ちに医師の処置を受ける。

暴露した場合：医師の処置を受ける。

保管：施錠して保管する。
廃棄：内容物や容器は関係法令に基づき適正に処理する。

3. 組成, 成分情報

単一製品・混合物の区別	混合物		
化学名（又は一般名）	よう化カリウム水酸化ナトリウム水溶液		
成分及び含有量	よう化カリウム	90%	水酸化ナトリウム 0.7 % 水 9.3%
化学特性（化学式）	KI	NaOH	H ₂ O
官報公示整理番号	1-439（化審法）	1-410（化審法）	
C A S No.	7681-11-0	1310-73-2	
毒劇法	非該当	非該当	
P R T R 法	非該当	非該当	

4. 応急措置

皮膚に付着した場合：直ちに付着または接触部を多量の水で十分に洗い流す。

眼に入った場合：直ちに多量の水で 15 分間以上洗い流し、速やかに眼科医の処置を受ける。

飲み込んだ場合：多量の水を飲ませた後、できれば卵白を混ぜた牛乳を飲ませ、医師の処置を受ける。患者に吐かせることはかえって侵され薄くなった胃壁を破ることがあるので絶対行わない。

5. 火災時の措置：

消火剤：この製品自体は燃焼しない。

特定の消火方法：速やかに容器を安全な場所に移す。

消火を行う者の保護：保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項：保護具を着用する。

環境に対する注意事項：河川や湖沼に直接排出しない。

回収, 中和：漏洩した場所は大量の水で洗い流すか、希酸を散布して中和した後、水で十分に洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：腐食性が強いので、取扱い時には適切な保護具を着用する。

作業終了後は必ず顔や手を洗う。

保管：容器は密栓して冷暗所に保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策：取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

管理濃度：設定されていない。

許容濃度：日本産業衛生学会（2007年度版）：水酸化ナトリウムとして $2\text{mg}/\text{m}^3$
 ACGIH（2007年度版）：水酸化ナトリウムとして $2\text{mg}/\text{m}^3$

保護具

手の保護具：保護手袋
 眼の保護具：保護めがね
 皮膚及び身体の保護具：保護衣（長袖作業衣）

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

形状：液体
 色：無色透明
 臭い：無し
 pH：13.2

物理的状态が変化する特定の温度／温度範囲

沸点：約 100°C
 引火点：不燃性である。
 密度：1.67(20°C)
 溶媒への溶解性：エタノール，グリセリンに溶解

10. 安定性及び反応性

安定性：通常の使用においては安定である。
 反応性：酸と反応する。
 避けるべき条件：日光，熱
 混触法：アルカリに溶解する材料

11. 有害性情報

急性毒性：経口摂取すると，口，のど，胃などが腐食される。
 （水酸化ナトリウムとして）
 ウサギ 吸入 LD50 = 325 mg/kg
 マウス 腹腔内注射 LD50 = 40 mg/kg

皮膚腐食性・刺激性：皮膚の薬傷・眼の損傷
 水酸化ナトリウムは，ヒト皮膚に対して 0.5%以上で刺激，重度の腐食を引き起こすとの記述がある。

眼に対する重篤な損傷・刺激性：眼の損傷
 眼に入ると，結膜や角膜が腐食され，視力低下や失明することがある。

呼吸器感作性又は皮膚感作性：皮膚感作性：水酸化ナトリウムは，ヒト皮膚での感作性試験で皮膚感作性はないとの記述がある。

生殖細胞変異原性：in vivo マウス骨髄小刻試験で陰性および in vitro 変異原性試験の Ames test で陰性

発がん性：IARC および NTP のリストに記載されていない。

生殖毒性：データ無し

特定標的臓器・全身毒性—単回暴露：呼吸系の障害
 水酸化ナトリウムは，ヒト呼吸器，気道を刺激し肺水腫を引き起こすとの記述がある。

特定標的臓器・全身毒性－反復暴露
：データ無し
吸引性呼吸器有害性 　　：データ無し

12. 環境影響情報

魚毒性 　　：水生生物に対して有害である。
　　　　　甲殻類（ネコゼミジンコ）LC50/48H = 40.4 mg/L
生態蓄積性 　　：データ無し
残留性／分解性：データ無し

13. 廃棄上の注意

測定後の液：希酸（10%硫酸など）で中和して、水で希釈（銅めつき膜厚 10 μ m の時は 200 倍以上）して排出する。
排水処理装置がある場合は、そのまま酸アルカリ系に排出する。
未使用液 　　：希酸（10%硫酸など）で中和して、水で希釈（20 倍以上）して排出する。
排水処理装置がある場合は、そのまま酸アルカリ系に排出する。
空容器は内容物を水洗いした後、産業廃棄物業者に廃棄を委託する。

14. 輸送上の注意：輸送に際しては直射日光を避け、容器の漏れのないことを確め、落下、転倒、損傷がないように積み込み、荷くずれ防止を確実に行う。

国際規制 　　：無し
国連分類 　　：危険有害物に該当しない。
国内規制 　　：無し

15. 適用法令

毒物劇物取締法：非該当
海洋汚染防止法：非該当
危規則 　　　：非該当
航空法 　　　：非該当
港則法 　　　：非該当
消防法 　　　：非該当

16. その他の情報

引用文献

- ① 化学物質の危険有害物便覧 厚生労働省安全衛生部監修中央労働災害防止協会 (2001)
- ② 危険物ハンドブック ギュンター・ホンメル編 シュプリンガー・フェアラーク東京 (1991)
- ③ 毒劇物基準関係通知集 改訂増補版 毒物劇物関係法令研究会監修 薬務公報社 (2000)
- ④ 化学防災指針 日本化学会編 丸善 (1979)
- ⑤ 14906の化学商品 化学工業日報社(2004)

* この製品安全データシートは、各種の文献などに基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、取り扱いには充分注意してください。また、含有量、物理／化学的性質、危険有害性などの記載内容は、情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。なお、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであり、特殊な取り扱いをする場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施してください。